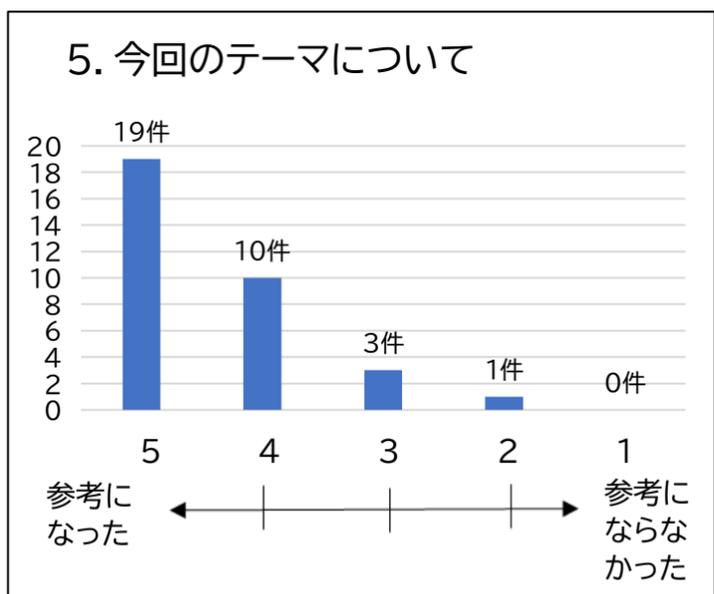
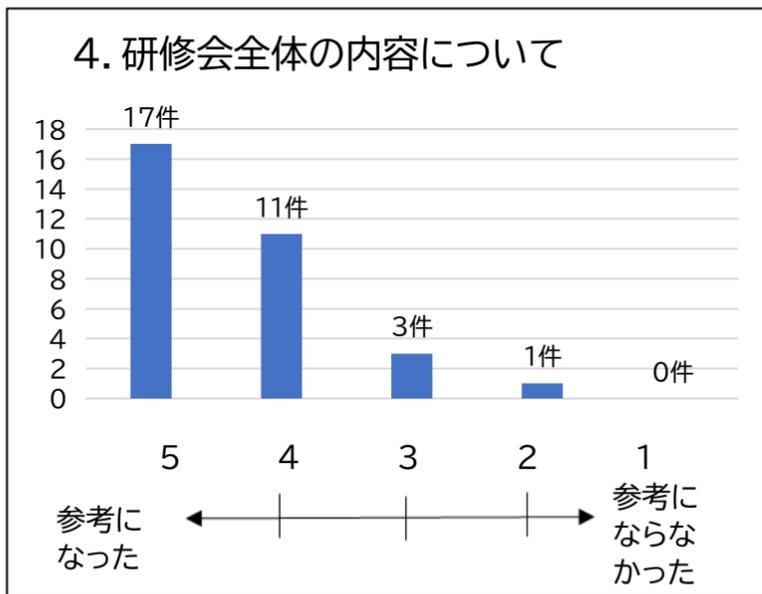
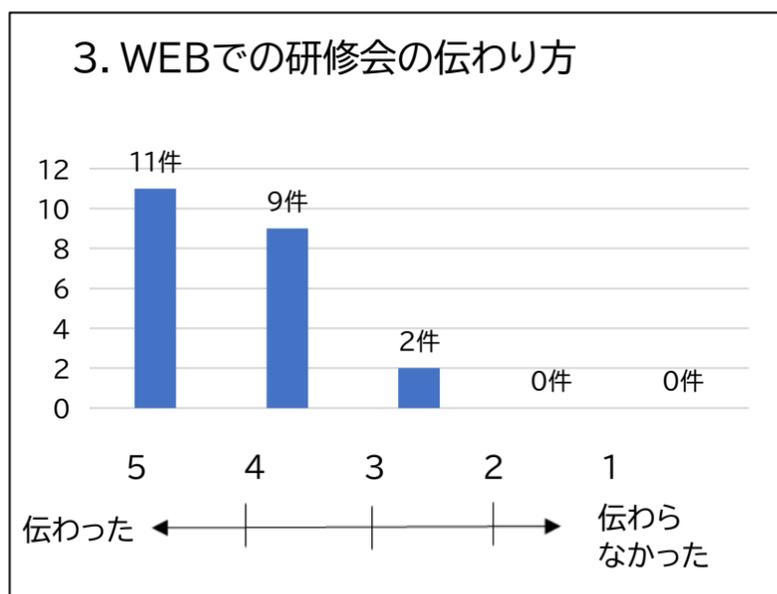
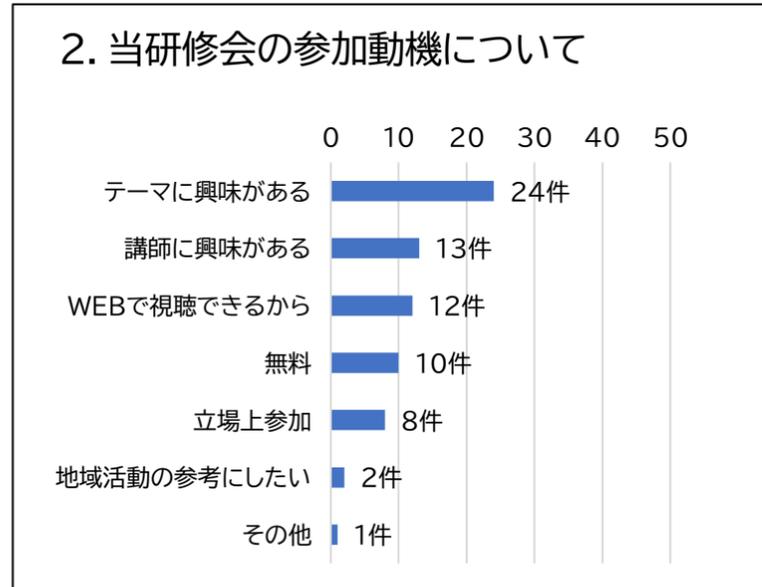
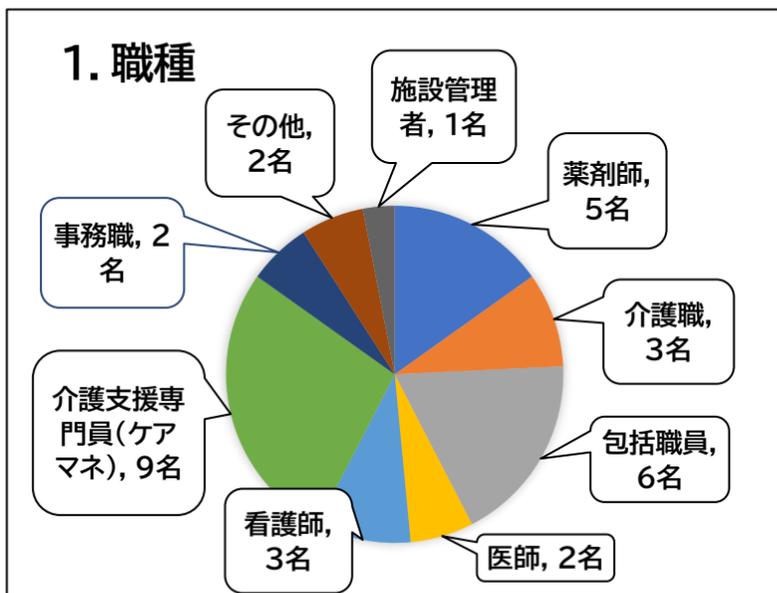


令和6年度 認知症対応力ステップアップ研修会(R7.3.18)

テーマ『身寄りがない認知症のある高齢者への支援を考える～成年後見制度を利用していない場合の対応を振り返って～』

【当日参加】参加者：19名(申込者：29名)、アンケート回答：11名

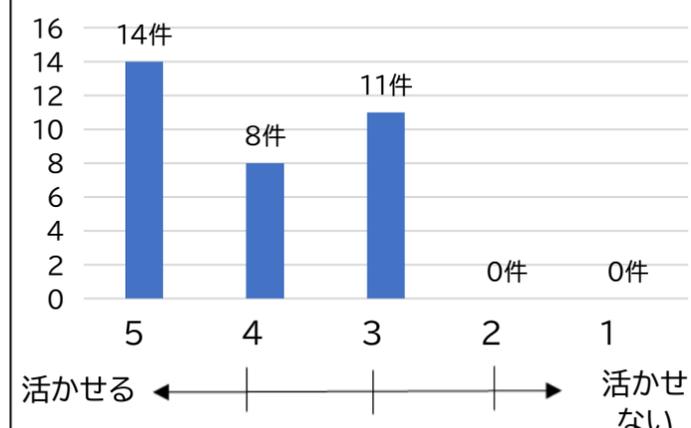
【オンデマンド】再生回数：146回、視聴回線：71件、アンケート回答者：22名



6.5の理由(アンケートより一部掲載)

・ 成年後見制度に関する知見を得ることが出来た。
・ 成年後見制度を利用にならない場合が多く、今後の対応方法や他の支援者はどのようにしているか知りたかった為。
・ 支援策として考えられる選択肢を確認できた。
・ 身寄りがない高齢者、時に認知症の方への支援は業務の中でも増えており今後の対応を考える上でも大変参考になりました。
・ 成年後見制度について、ご家族様に話をするのは難しいけれど、お金のことは大切な事なので、お話しなければいけないことが分かりました。
・ 制度の基本、その使い方が整理された。
・ 少子高齢化で身寄りのない高齢者が増えてくるためその時の対応どうすれば良いか学べたから
・ たくさんの制度がある事が理解できた。
・ 本人の意思決定支援の大切さを再認識しました。
・ 日常生活の中で、ひとり暮らしの高齢者が増えているだけではなく、周囲(親族や社会人)との関係性が希薄になって印象を持っています。にもかかわらず、個人情報や理由に、近所のひとり暮らしの高齢者が救急搬送される場合に、状況をたずねても家族でないのと、何も教えてもらえない事がありました。 今後、親族がいても実質的に頼れない高齢者が増えるとした場合に、成年後見人制度の利用は不可避の時代と思いますので、今後発生場所かもしれない事態に、事前に座学だとしても制度を理解することは、非常に大事と思います。
・ 今後ますますニーズがあると思われるので
・ ケアマネージャーの役割 最前線で権利擁護に必要な社会資源の開拓、開発を担うことを再確認できた
・ 認知症と身寄りのない方の対応は今後の大きな課題になっているので、事例も大変参考になった。
・ 具体的な事例を聞くことで想像しやすい状況でした。その後に状況に応じて利用することは予想される制度等もわかりやすかったです。
・ 高齢独居や認知機能低下した夫婦のみの生活ということを経験することが本当に多くなり、今回の事例は「まれ」ではない。そのようなケースに当たった時の知識を得ることができ、大変参考になった。
・ まさに今後増加するであろう高齢世帯の課題だと思うから。
・ 同じような状況をもつ方が増えていると感じていたので、一例として参考になりました。
・ 難しいケースだと感じた。なかなか対応が困難か。
・ 同じようなケースに関わったことがあったから
・ 具体的な困難事例をあげていただいたため
・ 後見人制度について理解できた
・ 成年後見制度は実際に利用する方が少なく、知識が乏しいため
・ テーマは良かった。但し、折角事例提供があったので、川原さんの意見を踏まえて、事例検討もして貰い、この事例対してのアプローチ方法を谷川先生から意見して貰いたかった。一般的な制度の考えは他の研修でも行っている為、深く切り込んでより支援者目線での意見を次回に期待したいです。
・ 成年後見制度の理解を深められた。
・ 成年後見制度までのつながり方をもっと具体的に教えて欲しかった。

7. 今後の日常業務に活かせるか



8.7の理由(アンケートより一部掲載)

- ・利用者であてはまる事例は少ないが、今後、その様な利用者がいれば多少なりともアドバイスできるのではないかと思います。
- ・認知症の治療について最新情報を聞いて良かった。家族やキーパーソンの後見人制度について説明の手法が勉強になった。
- ・情報整理、アセスメント、課題抽出を丁寧に行い活かしたい。何とかしなければ…の思いが優先し、大事な事を見落としがちになる為。
- ・講義の中身はもちろんのこと、グループワークの中で在宅や施設のケアマネさんたちと課題の共有ができた事は、今後の業務の中でも参考になると思いました。
- ・薬剤師なので、なかなか日常業務に活かすことはできませんが、在宅の患者さんに相談された時「こういう制度もありますよ。ケアマネジャーさんに相談してみてください」と橋渡しができるのではないかと思います。
- ・本人がどのような暮らしをしたいのかだけでなく、どこで?どんな?が大事→なるほど!
- ・成年後見制度について身につけていない知識も身につけられた。
- ・本人の意思を引き出す変わりが出来るように勉強していきたいと思います。
- ・権利擁護センターの具体的な相談受付、対応などが不明瞭なため
- ・個人でできること、事業所として出来ることなど検討していきたい。
- ・同じような事例はないと思うが、参考にしていきたいと思う。
- ・成年後見制度や日常生活自立支援事業について活用したことがなく、また理解も不足している状況のためすぐに活用することは難しいかと感じています。
- ・知識としては得ることができたが、実際に活用できるのかはまだ不安
- ・中核機関が未整備の市町村も多いため、既にこのような事例の相談が入っている。
- ・相談されたときに、どうすればいいのか、今までよりは考えられると思いました。
- ・成年後見人について詳しく知りたいと思った
- ・どんなケースでも家族の連絡先や関係性を元気なうちに確認しておくことが必要だと思った
- ・施設事務長であり、自身の家族もMCIのため仕事上でも家庭でも役立てることができる内容であったため
- ・老々介護・認々介護・高齢者単独世帯の増加を感じているので、問題事例の早期発見ができる。
- ・意思決定支援、アセスメントやチームケアといった基本に立ち戻ることができたから
- ・成年後見制度の活用や身元保証サービスの必要性をチェックできるシートなどがある事が知れて良かった。
- ・本人、家族が制度の理解や申請についてもハードルが高いと感じています。

9. 感想や参考になった内容

<ul style="list-style-type: none">それぞれの職種によって、いろんな考え方や意見がある、参考になった。
<ul style="list-style-type: none">事例を提供したCMと谷川さんの質疑は参考になりました。
<ul style="list-style-type: none">収入が少なく後見制度を利用したくない、子供がおらず、姪や甥とは疎遠で頼めない方が何人かいた。同じようなケースを対応した方とお話できると良かった。
<ul style="list-style-type: none">せっかくの講義だったので、より多くの人達と共有したかったです。認知症対応力ステップアップ研修会は以前に参したことがあると思って敬遠される人もいると思う。3月は多忙の為参加しやすい時期にお願いします。
<ul style="list-style-type: none">本人がどうしたいかというのが一番重要と分かりました。ご家族様の思い通りでは虐待にあたることもあるという事がびっくりしました。その時々のパターンでいろいろ考えていかなくてはならないと思いました。
<ul style="list-style-type: none">お名前だけはよくお聞きしていた谷川先生のお話を伺えて感動です。
<ul style="list-style-type: none">小林先生のレカネマップの有効性について気になっていたのが勉強になりました。
<ul style="list-style-type: none">成年後見制度につなげるためのステップが勉強になった
<ul style="list-style-type: none">①「虐待をしている」と見えても、当事者がしてあげたいと思ってもできる状態ないがために、ネグレクトしていると見えてしまうこともあるという視点も重要と思いました。②単独での判断や行動ではなく、関係者(地域では正しく近所を中心として、地域包括始ほかのチームやグループ)で、知恵絞って対応することが大事と思いました。③何れにしても、早い段階での「気付き」が大事だと思います。
<ul style="list-style-type: none">本人支援の重要性
<ul style="list-style-type: none">チームで進めること、意思決定、本人の意向が生命に危険のない範囲での尊重、認めた上での対応
<ul style="list-style-type: none">認知症の対応力ステップアップ研修でしたが、どちらかというと身寄りのない方や困難事例への対応力ステップアップという研修だったかと思えます。チームで対応するという基本は一緒であったので参考になりました。
<ul style="list-style-type: none">あらためて様々な制度の理解を深めていく必要があるなど感じました。webで視聴できるのも自分のペースで学ぶことができるので助かりました。
<ul style="list-style-type: none">今回谷川様のお話をお聞きできて、とても分かりやすく、参考になりました。また機会があれば是非参加(もしくはWEB視聴)させて頂きたいです。
<ul style="list-style-type: none">谷川先生の事例検討のすすめ方が素晴らしい。資料も全て参考になった。
<ul style="list-style-type: none">成年後見制度や認知症の治療について理解できた。現場はいつでも大変だが、チームで乗り越えていることが参考になりました。
<ul style="list-style-type: none">小林先生の講演内容が興味深かったです
<ul style="list-style-type: none">担当ケアマネが一人で抱えてしまい辛くなると思う。その時にはチームで関わり支援者を増やすことが大事だと改めて感じた
<ul style="list-style-type: none">家族がいても子どもたちが先になくなってしまったり、遠方の親戚しかいないなど当人たちと関わりが薄い状況の方々は沢山いるが、当人の意向を尊重し意思決定に関わることの大切さを改めて認識できた
<ul style="list-style-type: none">solomapが分かりやすかった。
<ul style="list-style-type: none">認知症をめぐる最新の情報を知ることができて良かった